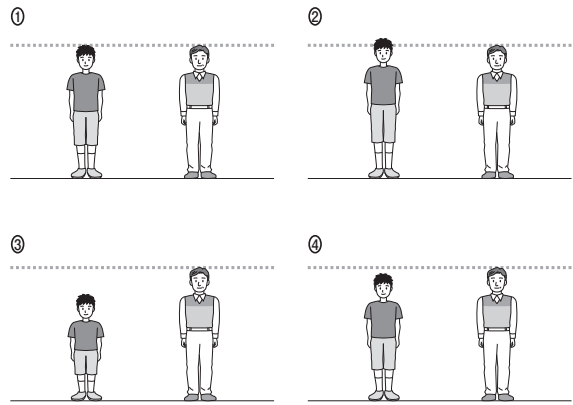


The boy is almost as tall as his father. の英文の内容に最も近い絵を選ぶ問題です。almost を「ほとんど」とだけ覚えていて、正しい選択に苦労します（正答率9.9%とほぼ全滅状態）。「ちょっと足りない」というイメージで押さえておかないといけない単語です。



これほど短期間の間に、4度も立て続けに almost の用法が問われる、ということの意味を真剣に考えてみなくてははいけないと思います。間違いなくそこには、「大学入試センター」の、現場に対するメッセージが込められていると私は見ています。「基本語は実際に使えるレベルにまで習熟しておきなさいよ」ということです。

『ライトハウス英和辞典』には「**語法**」 all, every, always など100%を表す形容詞や副詞の前に置いて使うことが多く、ある状態に非常に近いが到達していないということを含意する.」「**動詞・形容詞の前で**」もう少して…するところ」という正確な定義が示されています。

なお、この almost とほぼ同じ意味の nearlyが、第2回「試行調査」の「リーディング」第6問Bに出ています。「20,000匹にちょっと足りない」という意味です。

Furthermore, observers believe that the wolves have been responsible for a decline in the elk population from nearly 20,000 to less than 10,000 during the first 10 years following their introduction.

そして nearly と almost の違いについても『ライトハウス英和辞典』の「**類義語**」欄に丁寧に記述されています。

類義語 ... **almost, nearly** はともにもう少しである数・量・状態に達しそうなときに用いるが, *almost* のほうが *nearly* よりもいっそう接近していることを表わすことが多い: It was *nearly* [*almost*] noon. ほとんど正午近かった. また《米》では *almost* のほうがずっとよく用いられる.

about (p.4)

新しい「共通テスト」では、80分で読まなければならない分量が飛躍的に増えるので（1,000語以上）、「**語彙力**」がますます重要になってきます。単語と訳語を一対一対応で覚えるのが一番手っ取り早く簡単なのですが、それではすぐ忘れてしまい、応用力にもつながりません。

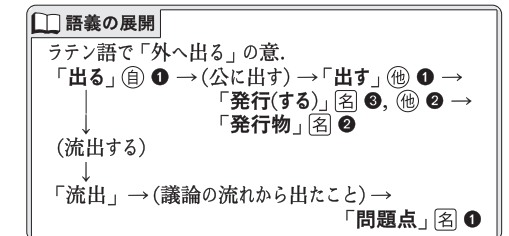
『ライトハウス英和辞典』では、「**単語の記憶**」欄を設けて、少しでも単語間のつながりを「理解」できるように工夫しています。また「**語義の展開**」で、多義語に見られる意味のつながりを分かりやすく理解できるようにしています。

第2回の「試行調査」の「リーディング」第6問Aで、issue「問題点」が出てきました。

With the rapid growth of airline travel in Asia, the shortage of airline pilots is becoming an *issue* of serious concern.

この単語は「出す」「発行する」「発行物」「問題点」などの意味がある単語ですが、『ライトハウス英和辞典』の issue を引くと、単語の始めに「**語義の展開**」として、これらの意味のつながりが分かるように図示されています。多義語はそれぞれの語義のつながりを意識するようにすると、記憶に残りやすく、応用力にもつながります。

*is·sue /ɪˈfuː | ɪˈfuː, ɪsjuː/



— ④ (～s /-z/) ① ④ **問題(点)**, 論点, 争点 (⇒ problem **類義語**); 討論: a political *issue* 政治の問題 / the energy [environmental] *issue* エネルギー[環境]問題 / The failure of the experiment has **raised** [*brought up*] a new *issue*. 実験の失敗は新たな問題点を提起した.

issue (p.739)

ライトハウス英和辞典 第6版 の特色

さらに充実した「**単語の記憶**」

*vis·it /vɪzɪt/

— ④ (vis-its /-zɪts/; -it-ed /-tɪd/; -it-ing /-tɪŋ/) ④

単語の記憶	VIS／見る＝see
visit (見に行く)	→ 会いに行く; 訪問
visible 目に見える	
vision (見ること)	→ 視力
visual 視覚による	
visa (見られた→検査済み)	→ ビザ, 査証
revise (再び見る, 見直す)	→ 改訂する
supervise (上から見る)	→ 監督する
advise (...を見る)	→ 意見を持つ) → 忠告する

visit (p.1574)

共通の語根を持つ単語を一箇所に集めてコラムにした「単語の記憶」は、単語力増強のためのツールとして長年ご好評をいただいています。『ライトハウス英和辞典』では1コラムに掲載する単語の数を10語以内に留めていますが、「単語の記憶」を活用することでさらに単語の世界を広げることのできる一例をここでご紹介したいと思います。

「見る」という意味の語根を持つ単語にはこれら以外にも、例えば以下のようなものがあります。

evidence (はっきり見えるもの)→ 証拠
improvise (先を見ていない)→ 即席で作る
provide (先を見る)→ 供給する; 用意する
provision (先を見ること)→ 供給; 用意; 食糧
video ((私は)見る)→ ビデオ
visage (見える部分)→ 容貌

このように、単語の背後にある「見る」という共通の意味を念頭に置くことで、複数の単語を効率的に覚えることができ、また記憶にも残りやすくなります。

新しい特色の「ポライトネス **👉**」とは？

I wonder if [whether] ... (1) ⑤ (丁寧) ...していただけるでしょうか (依頼); ...してもよろしいでしょうか (許可を求める): We couldn't catch a taxi. I was just wondering [I wondered] if you could give us a lift. タクシーが拾えません。乗せていていただけませんか (⇒ be' A 1 (1) **語源**).

◀ 例 ① wonder (p.1639)

親しい友達に依頼する例。比較的負担の重い頼み (相手が引き受けてくれるかどうかわからない) なので、遠慮がちに尋ねている。丁寧な言い方をするのは目上に対してのみとは限らないという点に注目！

目上の相手に対し許可を求める例。相手に迷惑がかかるかもしれないことなので、間接的に尋ねている。

友達を積極的に誘う例。相手にとって望ましい内容なので強い言い方をしている。ひとつ前の相手の発言からも相手が誘いに応じる可能性が高いことがわかる。

▼ 例 ② should (p.1291)

(4) [You should ... として; 勧め・誘いを表す] ぜひ ...してください (⇒ must' 4): It's a really good movie. You should see it. とてもいい映画なので、ぜひ見るといいですよ。

👉 相手にとって望ましいこと・楽しいことを積極的に勧めたり、誘うときに使う表現。相手が断わらないことが予測できる場合の強い言い方: You should try this cake. It's really delicious! このケーキ、ぜひ食べてみてください。すごくおいしいですよ! / "I haven't done much shopping lately." "Oh, Meg and I are going to the mall tomorrow (You should join us if you're not doing anything.)" "最近あんまり買い物してないなあ" "そうだ、明日メグとショッピングモールに行くんだけど、もし暇だったら一緒に行こうよ"